

論文の内容の要旨

論文題目 Morphological variation and systematic study of tube-nosed and woolly bats in Vietnam

(ベトナム産テングコウモリ類およびウーリーコウモリ類の
形態学的変異と系統分類に関する研究)

氏名 Nguyen Truong Son

ベトナムで新たに収集された標本群を用いて、同国のコウモリ類に関する比較形態学および分類学的研究を行った。対象としたおもな系統はテングコウモリ属とウーリーコウモリ亜科であり、頭蓋を主たる対象に骨形態学的データ収集を進め、多変量解析により頭蓋のサイズと形状の変異を解明した。主成分分析の結果、テングコウモリ属の種は、頭蓋のサイズによっていくつかの形態学的グループに分けることができた。そして各グループ内では、基準化値によって、さらにいくつかの種が頭蓋の形状をもとに明瞭な差をもって分けられた。また、性的二型は種によって異なり、*Murina annamitica* と *M. cyclotis* において、雌が雄よりも明らかに大きくなるという性的二型が確認された。集団間の形態学的差異を明らかにするために主成分分析と正準判別分析を組み合わせることで検討したところ、ウーリーコウモリ亜科においてウーリーコウモリ属とトランペットコウモリ属が、脳頭蓋の高径、眼窩間距離、口蓋前部の形状によって、明瞭に区別できた。同様に計測値により、ベトナム産 *Kerivoula hardwickii* は三つの形態学的タイプに分けられることが示された。これらはいわゆる隠蔽種であると考えることができ、本研究の結果、頭蓋の形状とサイズ、歯列の形態学的特徴において、グループ間の統計学的有意差が示された。一連の結果は、テングコウモリ属がその歯列の形状から、*suilla*-type と *cyclotis*-type の二つのタイプに分けられることを証明した。さらに、ベトナム産の15種に及ぶテングコウモリ亜科の種に関するこれまでの報告を総合し、新たな形態学的データと核型解析を加えて、分類学的比較議論を行った。その結果、多変量解析では、著しい性的二型を示す *M. tiensa* が *M. harrisoni* と区別することが難しいことが明らかとなった。また各種の分布データを解析すると、微小な標高差により種の生息域が分けられるパターンを確認することができ、このような効果が、同所的に分布する集団間で種の多様性創出に貢献していることが示唆された。ベトナムのテングコウモリ亜科の高い種レベルの多様性は、複雑な地形的・地理的要因に影響を受けて成立していると考えられ、異所的種分化を引き起こしてきたと考えられる。ベト

ナムの多彩な自然環境は複雑な生態学的相互関係をつくりだし、同所的に分布する集団間や種内の性的二型を基盤に、豊かな種多様性を生み出したと考えることができよう。